

## 議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 9 回玉里地区義務教育学校開校準備委員会																																																								
開 催 日 時	平成 3 1 年 3 月 4 日 ( 月 )    1 9 時 0 0 分 ~																																																								
開 催 場 所	玉里保健センター 集団検診室																																																								
出 席 者	<p><b>【出席委員】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>戸田 大我</td> <td>大平 勇一</td> <td>大石 幸子</td> <td>埴 千春</td> </tr> <tr> <td>大山 敏治</td> <td>櫻井 勝美</td> <td>遠藤 康子</td> <td>鬼束 久也</td> </tr> <tr> <td>中山 恵弘</td> <td>大関 律子</td> <td>田中 周</td> <td>稲田 義弘</td> </tr> <tr> <td>園部 文夫</td> <td>新妻 広章</td> <td>圓尾 康子</td> <td>高野 郁</td> </tr> <tr> <td>田山 恵子</td> <td>羽鳥 文雄</td> <td>大枝 利任</td> <td>大島 利則</td> </tr> <tr> <td>鶴町 文男</td> <td>長谷川忠徳</td> <td>田上 義明</td> <td>亀井 優</td> </tr> <tr> <td>藤田 泰正</td> <td>大山 徳</td> <td>荒井 敦</td> <td>相澤 博文</td> </tr> <tr> <td>青木 寿美</td> <td>山口 祐甚</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【欠席委員】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>伊藤 岳快</td> <td>鈴木 秀和</td> <td>室町 恭司</td> <td>山口 裕希</td> </tr> <tr> <td>室町 弥</td> <td>大和田智弘</td> <td>戸田 見成</td> <td>大槻 良明</td> </tr> <tr> <td>菊地 淳平</td> <td>向後 鷹宏</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【事務局】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>白井 律子</td> <td>吉永 成範</td> <td>菅谷 清美</td> </tr> <tr> <td>藤田 誠一</td> <td>長谷川勝彦</td> <td>植田 薫</td> <td>外之内信浩</td> </tr> <tr> <td>入野裕美子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	戸田 大我	大平 勇一	大石 幸子	埴 千春	大山 敏治	櫻井 勝美	遠藤 康子	鬼束 久也	中山 恵弘	大関 律子	田中 周	稲田 義弘	園部 文夫	新妻 広章	圓尾 康子	高野 郁	田山 恵子	羽鳥 文雄	大枝 利任	大島 利則	鶴町 文男	長谷川忠徳	田上 義明	亀井 優	藤田 泰正	大山 徳	荒井 敦	相澤 博文	青木 寿美	山口 祐甚			伊藤 岳快	鈴木 秀和	室町 恭司	山口 裕希	室町 弥	大和田智弘	戸田 見成	大槻 良明	菊地 淳平	向後 鷹宏			加瀬 博正	白井 律子	吉永 成範	菅谷 清美	藤田 誠一	長谷川勝彦	植田 薫	外之内信浩	入野裕美子			
戸田 大我	大平 勇一	大石 幸子	埴 千春																																																						
大山 敏治	櫻井 勝美	遠藤 康子	鬼束 久也																																																						
中山 恵弘	大関 律子	田中 周	稲田 義弘																																																						
園部 文夫	新妻 広章	圓尾 康子	高野 郁																																																						
田山 恵子	羽鳥 文雄	大枝 利任	大島 利則																																																						
鶴町 文男	長谷川忠徳	田上 義明	亀井 優																																																						
藤田 泰正	大山 徳	荒井 敦	相澤 博文																																																						
青木 寿美	山口 祐甚																																																								
伊藤 岳快	鈴木 秀和	室町 恭司	山口 裕希																																																						
室町 弥	大和田智弘	戸田 見成	大槻 良明																																																						
菊地 淳平	向後 鷹宏																																																								
加瀬 博正	白井 律子	吉永 成範	菅谷 清美																																																						
藤田 誠一	長谷川勝彦	植田 薫	外之内信浩																																																						
入野裕美子																																																									
内 容	・ 専門部会からの報告																																																								
会 議 資 料	別 紙 ( 会議次第、 他 )																																																								
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																								
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開    (傍聴者 0 人)																																																								

【協 議】

(1) 総務・通学部会からの報告

委員長 本日の協議事項は、総務・通学部会からの報告、制服・体操服に係る選定について、学校運営部会からの報告、PTA部会からの報告となっている。  
まず、総務・通学部会からの報告について、総務・通学部会部会長 中山委員より説明をお願いしたい。

◆資料1、資料2、部会資料1～3に基づき、部会長より説明

委員長 まず、校章について、意見等はあるか。

委 員 今後、校章のほか、校歌や校旗等も作成することになると思うので、新しい学校についての、ひとつのコンセプトのようなものがあったとしても良いのではないか。

部会長 コンセプトについて、部会においては検討していない。

今後、準備委員会の中でコンセプトの提案がなされ、決定すれば、それに従って作成をするよう募集していくことになると思うので、準備委員会としての意見をいただきたい。

委 員 特にコンセプトにはこだわらなくても良いと思う。

要項には、独創性という選定基準もあるので、募集にあたって、作成の主旨やデザインの持つ意味を記入してもらい、その中で選定していければ良いと思う。

委員長 その他に意見等はあるか。

— 意 見 等 な し —

委員長 それでは、報告のとおり進めさせていただく。

続いて、通学体制について、前回において、遠距離通学の距離を、3 km以上と決定した。

今回は、通学支援の対象児童と通学支援方法について、報告があったが、意見等はあるか。

委 員 玉里北小学区は、徒歩でも特に問題はないと思うが、歩道の整備をお願いしたい。歩道が片方しかない箇所があり、自転車と徒歩が重なると危険である。基本的には登下校時は、保護者が付き添ってくれているが、歩道の整備が難しければ、スクールバスによる通学支援をした方が良いと思う。

また、スクールバスにした場合、乗降所をどこに設置するかも考える必要がある。道路上での乗降は危険であるため、広さを確保できる場所に設置できると良い。

委 員 歩道の整備については、最もな意見だと思う。

ただ、歩道や道路の整備については、準備委員会ではなく、区長会から市に要望した方が効果的であると思う。

委員 区長会だけの要望では限界があると思うので、準備委員会としても要望した方が良くと思う。

委員 先ほどの意見にも出たとおり、乗降所は道路上ではなく、停車できる場所を確保する必要があるため、B&G海洋センターが良いと思う。

スクールバスの懸念として、児童が歩かなくなってしまう点があるので、健康面を考慮し、玉里北小学区は、B&G海洋センターを乗降所とし、乗降所までは歩くようにすると良いと思う。

また、玉里東小学区は、以前路線バスの駐停車場となっていた場所が良いと思う。

委員長 乗降所の設置場所の案についてご意見をいただいたが、望ましい乗降所の設置場所については、今後部会において検討していく。

通学支援の対象児童について、原則自由とするという案に関しては、部会の報告のとおりで良いか。

また、通学支援方法について、玉里東小学区については、スクールバス（スクールタクシー）、玉里北小学区については、スクールバス（スクールタクシー）または路線バスとのことであるが、報告のとおりで良いか。

一意見等なし

委員長 それでは、報告のとおり進めさせていただく。

## 【協議】

### （２）制服・体操服に係る選定について

#### ◆当日配布１、当日配布２、当日配布３に基づき、事務局より説明

委員長 第一次選定において、制服を２セット、体操服を３セット選定したが、意見はあるか。

委員 体操服について、第一次選定において選定された３セットと評価点がほとんど変わらないセットが１セットあるので、最終選定では、合計４セットから選んでもらってはどうか。

事務局 実施要項では、第一次選定で、得点上位２セットを選定するという内容で募集をしており、審査委員にも確認した上で審査を実施した。

しかしながら、審査の結果、評価点第２位のセットが２セットあったため、３セットを最終選定の候補とするということで決定した。

委員 女子のスカートについて、最終的には子どもたちの意見を反映していただきたいところではあるが、周囲の目線等を気にする生徒もいると思うので、例えばスラックス等も検討してもらいたい。

委員 部会では、上限を５万円以内ということで、事業者へ提案を依頼した。この上限額内でスラックスの提案を受けるのは難しいため、事業者が決定した後の個別対応になると思う。

委員 学校としては、女子の制服は原則スカートであるが、個別相談の上、対応は可能である。

委員長 その他、意見等はあるか。  
— 意見等なし —  
委員長 それでは、報告のとおり進めさせていただき、来年度のPTA総会時の最終選定において、決定とする。

【協議】

(3) 学校運営部会からの報告

委員長 続いて、学校運営部会からの報告について、学校運営部会部会長 高野委員より説明をお願いしたい。

◆資料3に基づき、部会長より説明

委員長 校舎建設等のハード面については、この後計画どおり進められていくと思うが、ソフト面は、教育課程や、どのような学びを子どもたちにさせていくかということが重要になってくる。

現在の小学校3校はそれぞれに特色はあると思うが、2年後に1つの学校になるので、すり合わせを行なっているところである。

また、早急にとということではなく、これから2年間をかけて統一し、決まり等も検討していくことになると思う。

報告について、意見や質問等はあるか。

— 意見等なし —

委員長 それでは、報告のとおり進めさせていただく。

【協議】

(4) PTA部会からの報告

委員長 続いて、PTA部会からの報告について、PTA部会部会長 大枝委員より説明をお願いしたい。

◆資料4、部会資料4、部会資料5に基づき、部会長より説明

委員長 新しいPTAを組織する上で、4校の現在の状況や、本年度義務教育学校として開校した土浦市立新治学園義務教育学校は、玉里地区と同様の3小1中の4校の統合であるため、参考になるということで、検討材料としている。

今後も部会において検討事項を決定していくとのことであるが、報告について、意見や質問等はあるか。

委員 子どもたちは減少しているということは、保護者も減少している。

そのなかで、現在は、PTAと子ども会育成会があり、どちらも役員を選出しなければならない。

人数が減少している中で、役割の数が変わらないのでは、厳しいと思う。

そのため、PTAと子ども会育成会が連携を取って、両方がスムーズに行われるような体制にできると良いと思う。

部会長 現在も、PTA役員を依頼すると、育成会の役員を受けているとの理由で引き受けられないということもあると思うが、今後調整をして進めていくことになると思う。

また、人数が減少しているということであるが、その中で、知恵を出し合っ  
て、すり合わせを更にしていくことになると思う。

委 員 PTAについて、単Pのみの活動なのか、現在のように市P連に加盟して活動していくのか。

部会長 組織としては、単PTAがあり、市の取りまとめとして市P連があるので、市P連の規約が変わらない限り、新しいPTAも、市P連の一員という位置付けとなると思う。

委 員 PTA会員は、生徒の保護者と教職員となるかと思うが、PTAの参加の可否は、保護者が選択できるのか。

現在、PTAが抱えている問題は多く、一番は、なり手がいないということである。

また、規約等も、現行のものを参考にして、新しい学校に引き継いでいくことになると思うが、現行の規約はだいぶ前に作成されたもので、保護者が現在置かれている立場に、必ずしも合致しないと思う。

そのため、社会情勢等を鑑みながら、なるべく保護者や教職員に負担のないように、身の丈にあった活動をしていかなければ、続かなくなると思う。

今のやり方だと、組織のために仕事をしているようなことになっており、PTAでは、しばしば「子どもたちのために」という言葉が使われるが、どう子どもためになっているのかという実感が乏しい。

保護者の間でも、「PTAは大変だ」という認識があるため、子どもたちのためになっているということが目に見えて分かり、達成感を得られるよう、組織としての工夫が必要であると思う。

部会長 負担になってしまうということは確かにあると思う。

教職員としてPTAに関わっている中で、活動がうまくいっている学校は、会員が活動を楽しんでいると思う。

また、会員の人間関係が良好で、その雰囲気子どもたちの活動に波及しているようなところがあると思う。

組織のための活動ではなくて、お互いがコミュニケーションを取りながら活動していけると、良いPTAになると思う。

委 員 保護者側に裁量権が欲しい。

基本的には前年を参考にしながら活動していくが、必ずしも前年にできたことが今年もできるわけではなく、身の丈にあった活動をしていかなければ、続けていくのは難しいと思う。

また、身の丈にあった活動をしないと、人間関係も悪くなり、揉め事が起

きるなど、本来の活動ができないということもある

委員 特に、役員の後任選びは大変であり、やらざるを得ないという状況になっているが、PTA活動そのものが、今の時代に合わないなどが問題だと思う。

これを機会に、PTAのあり方も考えていくべきであると思うので、部会を通して、いただいた意見を参考に、検討していきたい。

また、保護者の立場としては、学校のサポートができないかと考えている。

子どもたちがより良い学校生活を送れるよう、支援していきたい。

保護者も忙しい中でPTA活動に参加していると思うので、なるべく負担のないようなPTAの運営を考えていきたいと思う。

委員長 PTAそのものが今の時代に合わない、また、保護者の負担もあるという意見が挙がったが、このような意見を踏まえ、PTAの運営や内容の工夫が今後必要になってくると思う。

委員 学校のバックアップのみを行なうという現在のPTA組織のあり方を考え直しても良いと思う。

PTAの役員になると、会議等に平日出席しなくてはならず、半日あるいは一日拘束されることが年に何度もある。

平日休暇が取れる保護者ばかりではないし、土日が休みという保護者ばかりではなく、現在の働き方は多種多様で、それにPTAの活動が加わると負担が大きく、本部役員の依頼を断る保護者も多い。

また、会議が夜に設定されていると、「子どもたちのために」と言いつつも、子どもを家に置いて出席しなければならないという状況を考えると、役員が、可能な範囲で与えられた業務をこなしていくというあり方があっても良いかと思う。

委員 PTAの目的は、子どもたちの幸せのために保護者が学校との協議や活動を行なっていくと思うが、役員の役割は負担が大きいため、PTA全員が、役割を担うようにして、負担を分担していくと必要があるため、見直してほしい。

委員 PTAは保護者であるが、地域として子どもたちを育てていくという意識のもと、もっと範囲を広げて、地域の人たちにも協力を依頼していくと良いと思う。

委員長 皆様からいただいたご意見のもと、部会において今後協議を進めていくということで良いか。

— 意見等なし —

委員長 それでは、報告のとおり進めさせていただく。

その他

来年度以降のスケジュールについて

◆資料5に基づき、事務局より説明。

**【委員長あいさつ】**

2年間、委員長を務めさせていただきました。

皆様にはこれまでご協力いただきまして、ありがとうございました。

**【副委員長あいさつ】**

皆様のおかげで、玉里の子どもたちはすくすくと育っています。

ぜひこれからも、子どもたちがたくさんの花を咲かせられるように、皆様にお力添えいただければと思っています。

大変お世話になりました。今後とも子どもたちのためによりしくお願いいたします。ありがとうございました。

閉会 (20:30)